

世界のマイスターの足元の投資環境と今後の見通しについて

PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)

愛称 世界のマイスター(資産成長型)/(年2回決算型)

追加型投信/内外/資産複合

2021年3月18日

平素より「PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)」(以下、世界のマイスター)をご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。「世界のマイスター」は2020年10月30日より設定・運用を開始しており、主要投資対象として「ピムコ・バミューダ・ダイナミック・マルチアセット・ストラテジー・ファンド・クラスJ(JPY)」(以下、当ファンド)を通して運用を行っております。本レポートでは足元の投資環境と今後の見通しにつきまして、運用委託先であるピムコジャパンリミテッドのコメントをご紹介します。

今回のレポートのポイント

- 2021年1月は株式、債券市場がともに軟調に推移する中で、当ファンドは堅調にスタート
- 今年2月下旬以降、米国における長期金利の上昇によって引き起こされた株式市場の調整を受け、2-3月の当ファンドはやや軟調に。金利上昇による債券部分へのマイナスの影響は小さく、これまで株式投資比率が低い中でパフォーマンスのけん引役となったテーマ株式投資の下落による影響が主なマイナス要因
- 急速な金利上昇は市場の冷や水となったものの、ワクチン接種の普及に加え、200兆円規模となる米国の追加経済対策が可決されたこともプラスとなり、景気回復のペースは後半にかけて弾みがつく見込み。かかる環境では、グリーン&デジタルといった株式の投資テーマは引き続き有望な投資テーマと考えられ、徐々に株式投資比率も引き上げられる見込み

1. 設定来パフォーマンス: 景気回復が続く中で設定来プラスを維持

足元で調整を迎えるも安定的な成長を実現

- 設定以降、リスク資産の上昇などを背景に元本の安定的な成長を実現し、2021年2月には設定来高値となる+12.0%の水準まで上昇しました。
- 2021年に入り、1月は株式および債券市場が軟調となる中でプラスのリターンを維持したものの、2月下旬以降に米国長期金利が上昇、リスク資産が急速に調整する局面では当ファンドも軟調な推移となりました。
- 結果として、2月下旬以降はマイナスとなったものの、設定来のパフォーマンスはプラス圏を維持しています。

当ファンドの基準価額および純資産残高の推移



期間: 2020年10月末~2021年3月5日

当ファンドの基準価額は2020年10月末を100として指数化

(※)当ファンドとは、世界のマイスターが主要投資対象としている「ピムコ・バミューダ・ダイナミック・マルチアセット・ストラテジー・ファンド・クラスJ(JPY)」のことです。

(出所)ピムコジャパンリミテッドデータを基に岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での岡三アセットマネジメント株式会社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

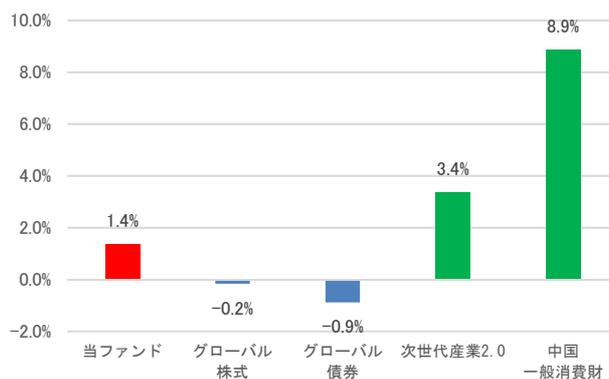
PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)
 愛称 世界のマイスター(資産成長型)/(年2回決算型)
 追加型投信/内外/資産複合

2. 2021年1月:株式、債券市場がともに軟調な推移となる中、良好なパフォーマンスを実現

株式部分におけるテーマ投資がけん引役に

- 1月は米国で民主党が上下院を制し「トリプルブルー」となる一方、ワクチンの普及の遅れに対する懸念などから債券、株式市場ともに下落しました。
- 当ファンドではPIMCOの実績ある経済見通しに基づき、投資地域・テーマに基づく株式投資を行っています。
- 株式部分においては、「中国の一般消費財・ヘルスケア」やグリーン&デジタルといった「次世代産業2.0」などのテーマ株式投資が奏功し、株式、債券がマイナスとなる環境でもプラスのリターンとなりました。

2021年1月のパフォーマンス比較



PIMCOの投資テーマ

期間:2020年12月末~2021年1月末
 使用したデータについてはP4下部を参照
 (※)当ファンドとは、世界のマイスターが主要投資対象としている「ピムコ・バリュエーター・ダイナミック・マルチアセット・ストラテジー・ファンド・クラス」(JPY)のことです。

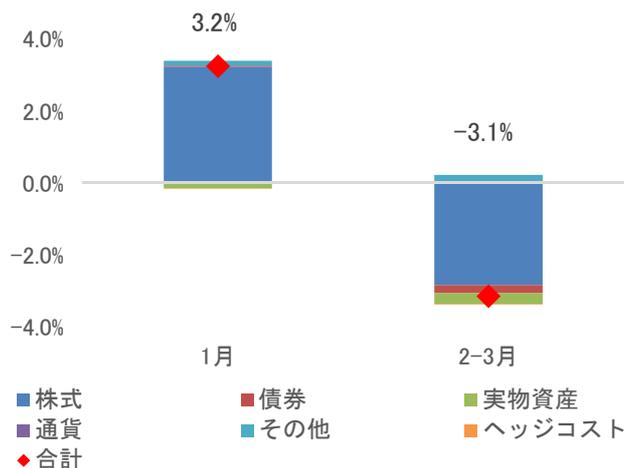
(出所)ピムコジャパンリミテッド、Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

3. 2021年2-3月:テーマ株式投資の下落により、やや軟調なパフォーマンスに

これまで力強く上昇したテーマ株式投資の調整がマイナスに影響

- 昨年10月末の設定来、1月にかけて「次世代産業2.0」などのテーマ株式投資が株式市場を大幅に上回るパフォーマンスを記録し、プラスに寄与してきたものの、2月下旬以降の株式市場の調整局面では同テーマに含まれる再生可能エネルギーや電気自動車関連が大幅に反落する展開となりました。
- 2月下旬には米国を中心に先進国の長期金利が急騰したものの、当ファンドにおいては金利リスクを低位としつつ、インフレ連動債などにも投資を行っていたことから、金利上昇による債券価格の下落による影響は軽微にとどまりました。

2021年初来の価格変動要因分析



(※)価格変動要因分析は、月末前営業日の「ピムコ・バリュエーター・ダイナミック・マルチアセット・ストラテジー・ファンド・クラス」(JPY)の基準価額を基に算出しております。なお、3月は2021年3月5日までです。

(出所)ピムコジャパンリミテッドデータを基に岡三アセットマネジメント作成

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での岡三アセットマネジメント株式会社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みには、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

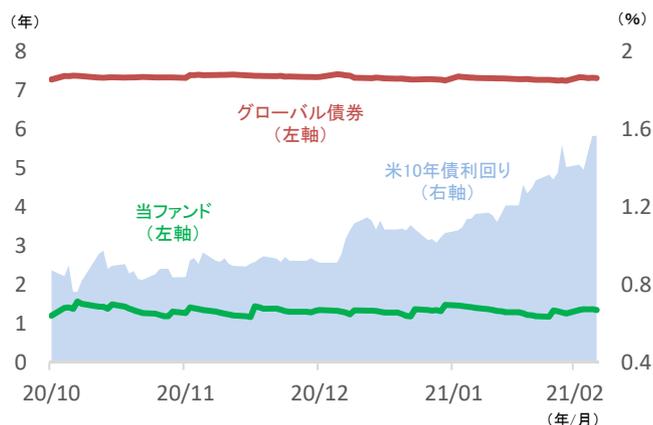
PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)
愛称 世界のマイスター(資産成長型)/(年2回決算型)
追加型投信/内外/資産複合

4. 今後の見通しと戦略: 今年後半にかけて景気回復に弾み、投資テーマは引き続き有効

世界的な金利上昇の継続には限界も

- 2月下旬以降、景気回復への期待感から米国を中心に長期金利が上昇、かかる状況が回復の抑制要因になるとの見方から株式市場の冷や水となりました。
- PIMCOでは主要先進国の中央銀行があくまで景気を重視し、利上げ観測を含め実質金利の上昇を抑制するスタンスであることから、足元の環境において長期金利の上昇には限界があるものと考えています。
- かかる環境下では、債券部分の金利リスクを抑制しつつ、インフレ期待主導での長期金利の上昇に耐性を有するインフレ連動債への投資を継続します。

当ファンドの金利リスクと米10年債利回り推移



期間: 2020年10月末~2021年3月5日
使用したデータについてはP4下部を参照
(※)上記グラフは当ファンドおよびグローバル債券指数のデュレーションです。デュレーションとは、金利の変化に対する債券もしくはポートフォリオの価格感応度を示す値(単位:年)で、債券投資において広く用いられるリスク指標です。デュレーションは長いほど、債券は金利変動に対して感応度が高くなり、結果、債券価格の変動がより大きくなります。

(出所)ピムコジャパンリミテッド、Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

短期的には株式投資比率を削減

- 2月下旬における株式市場の反落を受け、株式組入比率を削減し、1月末時点の39%から2月末時点で29%まで引き下げました。
- ただし、1.9兆ドルの米国大型追加経済対策の成立や低金利政策の継続等を背景に、今年後半にかけて景気回復に弾みがつくとの見方を維持しています。
- 株式の主要な投資テーマである「次世代産業2.0」や「中国の一般消費財・ヘルスケア」は、かかる新しい景気回復サイクルにおいて、特に力強い推移を見せるものと考えています。

ポートフォリオの資産別構成比率

(1/29時点) (2/26時点)

種別	比率	種別	比率
債券	56%	債券	68%
債券: 米国	47%	債券: 米国	62%
債券: 米国除く先進国	9%	債券: 米国除く先進国	6%
債券: 新興国	0%	債券: 新興国	0%
株式	39%	株式	29%
株式: 米国	15%	株式: 米国	8%
株式: 米国除く先進国	7%	株式: 米国除く先進国	7%
株式: 新興国	17%	株式: 新興国	14%
商品等	5%	商品等	3%
金	5%	金	3%

(出所)ピムコジャパンリミテッドデータを基に岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での岡三アセットマネジメント株式会社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みには、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様自身で行っていただきますようお願いいたします。

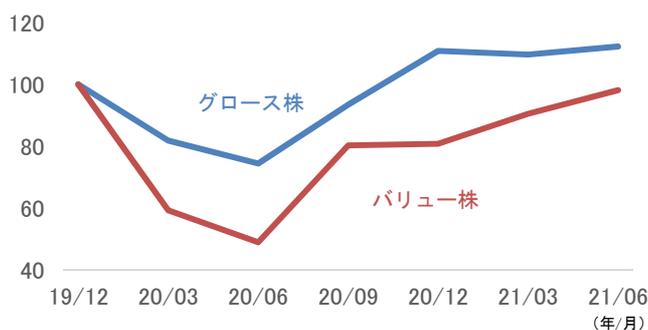
PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)
 愛称 世界のマイスター(資産成長型)/(年2回決算型)
 追加型投信/内外/資産複合

コラム: 成長の持続と株式市場に関する見方

グロース株式の利益はコロナショック前を回復

- 昨年のコロナショックを受けて企業利益は大きく落ち込んだものの2020年4-6月期を底に回復基調を強めています。
- 株式市場ではグロース株からバリュー株へのシフトが話題になっていますが、PIMCOではバリュー株の企業利益はコロナ前の水準を回復することで精一杯であるのに対し、グロース株については成長余地がまだ残されていると見ています。
- したがって、「変化に巻き込まれる」バリュー株に対して短期的に劣後をしているグロース株は、中長期的にバリュー株をアウトパフォームすると想定されます。

スタイル別の利益水準推移



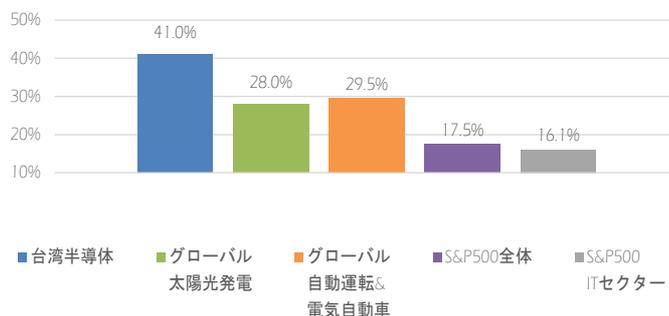
期間: 2019年10-12月期~2021年4-6月期、2019年10-12月期を100として指数化
 2021年1-3月期以降はBloombergのコンセンサス予想値
 使用したデータについてはP4下部を参照

(出所)ピムコジャパンリミテッド、Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

持続的な成長が見込まれる産業は強含む傾向

- 昨年のコロナショックを契機とした産業構造の変化(『グリーン&デジタル』の推進等)によって需要が高まった産業が良好なパフォーマンスを見せています。
- 引き続き、法整備や政策支援が継続する環境下、大きな変革をもたらす企業には持続的な成長余地があるものと考えられます。

セクター別パフォーマンス比較



期間: 2020年10月末~2021年3月5日
 使用したデータについてはP4下部を参照

(出所)ピムコジャパンリミテッド、Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

※当資料において使用したデータについて

- P.2 上段
 グローバル株式: MSCI オールカントリー・ワールド・インデックス
 グローバル債券: ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル債券総合インデックス
 次世代産業2.0: PIMCOが2020年4月より運用する株式バスケット
 中国一般消費財: PIMCOが2019年10月より運用する株式バスケット
- P.3 上段
 グローバル債券: ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル債券総合インデックス
- P.4 上段
 バリュー株: Russell 1000 Value
 グロース株: Russell 1000 Growth
- P.4 下段
 台湾半導体: ICE FactSet Core Semiconductor Price Return Index
 グローバル太陽光発電: MAC Global Solar Energy Index
 グローバル自動運転&電気自動車: ICE FactSet Global Autonomus and Electric Vehicles Index
 S&P500全体: S&P500
 S&P ITセクター: S&P500 情報技術セクター

上記のMSCI指数はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は MSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での岡三アセットマネジメント株式会社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みには、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)
 愛称 世界のマイスター(資産成長型)/(年2回決算型)
 追加型投信/内外/資産複合

世界のマイスターの運用状況(2021年3月15日時点)

<資産成長型>



基準価額	10,459円
純資産総額	91.8億円

<年2回決算型>



基準価額	10,261円
純資産総額	37.3億円

【分配金】

第1期(2021年3月10日)	190円
-----------------	------

※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
 ※分配金は1万口当たり、税引前です。
 ※分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
 ※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

 ピムコ・バミューダ・ダイナミック・マルチアセット・ストラテジー・ファンド・クラスJ (JPY)の状況
 (2021年2月26日時点)

<資産別構成比率>

種別	比率
債券	68.2%
国債・政府機関債	49.3%
物価連動国債	4.0%
政府系モーゲージ証券	—
非政府系モーゲージ証券	—
投資適格社債	14.0%
ハイ・イールド社債	0.8%
新興国債券	—
地方債	—
株式	28.7%
米国株式	7.7%
先進国株式(米国を除く)	7.3%
新興国株式	13.8%
商品等	3.1%
金	3.1%
合計	100.0%

<国・地域別構成比率>

国・地域	比率	うち債券	うち株式
米国	73.0%	62.2%	7.7%
中国	9.4%	—	9.4%
日本	6.4%	0.0%	6.3%
オーストラリア	3.6%	3.6%	—
台湾	3.2%	—	3.2%
フィンランド	2.8%	—	2.8%
カナダ	2.6%	2.2%	0.4%
韓国	1.1%	—	1.1%
スウェーデン	0.7%	—	0.7%
イギリス	0.6%	0.0%	0.6%
その他	-3.4%	0.2%	-3.6%
合計	100.0%	68.2%	28.7%

 <通貨別構成比率
 (主要5通貨、円ヘッジ後)>

通貨	比率
日本円	100.2%
中国元	5.2%
台湾ドル	3.8%
ユーロ	-6.3%
米ドル	-7.0%
その他	4.1%
合計	100.0%

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
 ※ロングポジションとショートポジションを合算したネットの比率を記載しています。

※国・地域は、Bloombergが判定したリスク所在国を表示しています。
 ※米国については、債券、株式以外に商品等が含まれるため、債券、株式の合計値とは一致しません。
 ※国・地域別構成比率および通貨別構成比率は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
 ※ロングポジションとショートポジションを合算したネットの比率を記載しています。

(作成：運用本部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での岡三アセットマネジメント株式会社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みには、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様自身で行っていただきますようお願いいたします。



PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内外の株式、債券、通貨、商品および不動産関連の証券等価値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。為替変動リスクを完全にヘッジすることはできないため、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「債券価格変動リスク」、「商品価格変動リスク」、「不動産関連の証券の価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。その他の変動要因としては「流動性リスク」、「カウンターリスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品、保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが見込まれる場合も同様です。
- 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンド目的・特色」、「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限2.2%（税抜2.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.848%（税抜1.68%）

※当ファンドが投資対象とする投資信託証券の運用報酬はかからないため、実質的な運用管理費用（信託報酬）も上記と同じとなります。

- その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産にご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等、海外における資産の保管等に要する費用を間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。



販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○			
東洋証券株式会社	関東財務局長(金商)第121号	○			○

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)